

# 広報かめだ

発行所 亀田町役場

編集責任者 松原元一

町の人口	
人口	22,295人
男	10,823人
女	11,472人
世帯数	5,022
45.11.1現在	

12月

毎月1回1日発行

NO. 27



年末の市でいそがしい魚屋さん

写真提供 亀小5の4 渡辺昇君

## 季(節)の話(題)

十二月は日が短く、寒さは日ごとに加わって、家の中では火の気が恋しく、野外の景色はわびしさを増し、月半ばには、あわただしい年末の気分が町々にただよいます。師走(しわす)、極月(ごくげつ)などという十二月の別称が、とくにわたくしたちの暮らしのうへのあわただしさに輪をかけているように思えます。

このあわただしさに、何となくふりまわされないうちに、自分の家の暮らしに合った家事計画表をつくってみませんか。例えば、買物せんたく、お掃除など、上中、下旬にふりあてて。

町のお店はもう歳末大売出しです。あちこちの商店は先月末からシングルベルを鳴らして客寄せしています。上旬までは、まだそれほどいそがしくありませんから、忘れやすい小物や、正月料理用の乾物などゆつくり選べます。気のついたときにぼつぼつ買っておくと押しつまってからあわてずにあつめます。適当な日を選び、ご主人を相談役兼持たせ役として連れて出ることをおすすめします。小さなお子さんの手を引いて混雑した商店街を歩くのはたいへんです。十二月といってもこのごろは落語や講談に聞く年の瀬といった切迫感はありません。若い人たちはむしろ年末から年始にかけての連休をどう過ごすかといった計画や、ご家庭でも、ボーナスの胸算用や、かねて予定のお買物の計画をお立てになっていることでしょう。

話しは変わりますが、一年を二十四の節氣にわけてその二十一番目の氣を「大雪」といいます。大雪というのは、陰氣が積んで雪となるという意味で、ことしは七日が大雪に当たります。このころは天気も定まらず時に雪もはげしく降ってくることもあり、いよいよ本格的な冬の到来となります。また年も押しつまった二十一日は冬至です。この日は一年中でいちばん日の短い日ですが、日の短さと氣の短さをくらべてもケンカになりません。もうこまで来たら落ちついて、日が短かければ夜は長いわけですから、氣をもちなおし、この長い夜をうまく利用しましょう。

ストーブを入れたお部屋や、コタツを囲んでお互いにテレビを見たり、本を読んだり主婦は縫いものや、編みもの、ご主人は年賀はがき書きなど、一家そろえば、ひとりぼっちの夜なべとちがつて仕事に精も出ます。さて、今月は、はじめに家事の予定表を作ってみなければ、予定どおり進行しているかどうか、あれもまだ、これもまだ、クリスマスがやってくると、もう大みそかまではかけ足のようにです。心静かに除夜の鐘の鳴るのを待ちましょう。

庭でも、ボーナスの胸算用や、かねて予定のお買物の計画をお立てになっていることでしょう。

話しは変わりますが、一年を二十四の節氣にわけてその二十一番目の氣を「大雪」といいます。大雪というのは、陰氣が積んで雪となるという意味で、ことしは七日が大雪に当たります。このころは天気も定まらず時に雪もはげしく降ってくることもあり、いよいよ本格的な冬の到来となります。また年も押しつまった二十一日は冬至です。この日は一年中でいちばん日の短い日ですが、日の短さと氣の短さをくらべてもケンカになりません。もうこまで来たら落ちついて、日が短かければ夜は長いわけですから、氣をもちなおし、この長い夜をうまく利用しましょう。

ストーブを入れたお部屋や、コタツを囲んでお互いにテレビを見たり、本を読んだり主婦は縫いものや、編みもの、ご主人は年賀はがき書きなど、一家そろえば、ひとりぼっちの夜なべとちがつて仕事に精も出ます。さて、今月は、はじめに家事の予定表を作ってみなければ、予定どおり進行しているかどうか、あれもまだ、これもまだ、クリスマスがやってくると、もう大みそかまではかけ足のようにです。心静かに除夜の鐘の鳴るのを待ちましょう。

庭でも、ボーナスの胸算用や、かねて予定のお買物の計画をお立てになっていることでしょう。

話しは変わりますが、一年を二十四の節氣にわけてその二十一番目の氣を「大雪」といいます。大雪というのは、陰氣が積んで雪となるという意味で、ことしは七日が大雪に当たります。このころは天気も定まらず時に雪もはげしく降ってくることもあり、いよいよ本格的な冬の到来となります。また年も押しつまった二十一日は冬至です。この日は一年中でいちばん日の短い日ですが、日の短さと氣の短さをくらべてもケンカになりません。もうこまで来たら落ちついて、日が短かければ夜は長いわけですから、氣をもちなおし、この長い夜をうまく利用しましょう。

### 第一保育所 建設予定地を買収

昭和四十五年、第六回亀田町議会臨時会が去る十一月十日開催され、第二保育所建設に伴う土地取得(予定地稲葉浦一、二七。一、二八番地の約一九八三、四七一㎡(約六百坪)の譲渡。町の区域及び名称(対象は市街化区域の現在の五つの大字と、十七の行政区)の変更を中心とした議案が提案され、それぞれ議決されました。その結果、第二保育所が将来、諏訪町の新興住宅地に移動することになりました。議案の内容については次のとおりです。

◎承認第四号 昭和四十五年度亀田町一般会計補正予算の専決処分承認を求めるとして(承認) この専決処分は、町教育委員、公民館長、玉井益氏の死去により、十月十四日公民館事務執行し、その経費を専決したものです。

◎町の区域及び名称の変更について(特別委員会に付託) この議案は、本年度における住居表示を決定し、その旨告示をいたしましたが一、二八番地から変更請求が出され、議会では特別委員会をつくらせて、そこで公聴会を開いて審議することになったものです。

◎昭和四十五年度亀田町一般会計補正予算について(議決) ◎土地取得について(議決) この二つの議案は、第二

議員「緊急質問」 問は現在、町が通の川根湯の埋立てであり、これがこのままに放置しておられるならば、当然水は腐敗し、その役割は果たせないという危険を関係住民はもっており、これらに對して町はどのような対策を考へておられるのかお聞きしたい。 町長「ただいまの、下早通の川根湯の埋立による被害ですが、これは下早通ともいろいろ話し合いの結果一部埋立でも差しつかないということで行なっております。 しかしながら、その当時考へておいた結果よりは、只今の質問の趣旨にもあるように、よい結果になっていないというところは、この前もすでに部落の方からご不満の声が出たので、急遽課長から現場へ向ういていろいろ対策について、話しを申し上げて来ましたが、従って私共、町としての考へ方は、ご案内のとおり庶務処理が破損したためにぜひもう一箇所がとくに必要にせられたので、お願いしたいのであります。さらに今後においてもそうしたことが考えられるので、カマの修理については相当金がかかるが、修理をいたしたいと考えております。

## 昭和四十五年度 水道事業上半期事業報告書

水道事業、業務報告は、地方公営企業法第四十の二、第一項の規定並びに亀田町水道事業の設置等に関する条例第七條第一項の規定に基づき、年一回事業年度の予算の概算、及び事業の経営方針をそれぞれ住民に明らかにしなければならぬことになつておりますので亀田町水道事業の業務状況をここに公表いたします。

一、概況 (1)総括事項 昭和四十五年上半期(四月～九月)において、水道諸施設の整備に重点を置き、浄水場は勿論、町民各位のご協力を得て、配水管及び給水管漏れ箇所を早期発見修理に努める一方法定年数に達した量水器の取替えも順調に進み、別表数字に見られるような成績をおさめております。また、地域住民の要望にお答えして配水管の布設工事を実施いたしております。従いまして当初予算に計上いたしました給水管数、人口、配水量等も大体予定どりの状況であります。

- ◇職員の状況
- 局長 一名
  - 庶務係 五名
  - 工務係 四名
  - 浄水係 四名
  - 合計 十四名
- ◇料金の他供給条件の設定変更に関する事項(該当事項ナシ)
- ◇工事
- (1)建設工事の概況
  - 浄水場配水池防犯工事 三〇四、〇〇〇円
  - (2)保守工事の概況
  - (a)量水器新設取替件数 新設取付量水器 一六一件
  - (b)量水器新設取替件数 取替量水器 三八二件
  - (c)給配水修理件数 給配水修理工事 二二五件

た。一日最大配水能力七五〇m<sup>3</sup>をオーバーして配水する日数が(特に夏期、酷暑期)漸増して、七、五〇m<sup>3</sup>の最大配水能力に迫りつつある現状にあることを、ご認識いただきたいと思ひます。 以下、細部につきましては事業報告書のとおりです。

業 務

(1)給水に関する事項

(a)給水戸数給水人口

区分	戸数	普及率	人口	普及率
昭和45年度上半期	5,013	80.23	22,291	81.19

(b)用途別給水件数及給水量

区分	件数		給水量	
	一般用	営業用	水量	件数
上半期	3,832	483,681	179,473,394	3,845,230,457

(2)取水、配水有収水量に関する事項 (単位m<sup>3</sup>)

区分	計						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
取水量	130,500	146,500	150,200	179,800	205,300	185,000	997,300
配水量	121,874	131,028	144,058	156,916	165,976	163,052	882,904
有収水量	111,041	108,372	121,549	123,416	146,701	158,998	769,987

損益計算書

昭和45年度亀田町水道事業上半期損益計算書

	円	円
1. 営業収益		
(1) 給水収益	30,061,850	
(2) 受託工事収益	20,255	
(3) その他営業収益	746,895	30,832,000
2. 営業費用		
(1) 原水及浄水費	6,433,473	
(2) 配水及給水費	3,997,230	
(3) 受託給水工事費	33,781	
(4) 総係費	4,458,966	
(5) 減価償却費	3,925,000	
(6) 資産減耗費	8,150	
(7) その他営業費用	489,966	19,316,566
営業利益		11,485,434
3. 営業外収益		
(1) 受取利息及配当金	271,486	
(2) 雑収益	139,163	410,649
上半期総利益		11,899,083
4. 営業外費用		
(1) 支払利息その他	5,669,202	5,669,202
上半期純利益		6,229,881

(4) 重要契約の要旨

契約年月日	契約金額	契約の内容	契約の相手方
45.5.1	360,300	向山浄水場水防犯工事	南場組
45.7.3	155,000	稲葉真配水管新設工事 φ100~延長130m	新設工業所
45.7.8	140,000	城所配水管布設工事 φ75~延長107m	小木工業株式会社
45.6.1	120,000	薬品貯蔵設備新設工事	山崎鉄工所
45.7.8	336,000	浄水場衛生設備	斉藤工業所
45.7.7	202,000	配水ポンプ室窓取振修繕工事	建築業 山田義男
45.7.1	90,000	新明町配水管新設工事 φ50~φ65m φ40~φ72m	小木工業株式会社
45.9.1	7,350	山の下配水管新設工事	新設工業所

(4) 企業債の概況

種類	借入先	前年度末	本年度上半期	本年度上半期
		償還元金	償還額	期末残高
大蔵省資金部	163,000,000	135,528,135	2,253,542	133,269,593
公営企業金融公庫	47,000,000	35,461,542	615,381	34,846,158
計	210,000,000	170,989,677	2,873,926	168,115,751

「辺地のよい子に本を贈る」 各学校の協力みもの

毎年十一月の読書週間に、おいて実施してまいりました「辺地に本を贈る運動」は、ことしも亀小、東小、早小、亀中の四校の児童の協力を得まして三〇二冊の単行本、雑誌が集まり、公民館を通じて県立図書館に送り届けました。 県立図書館黒崎館長から各学校の先生方、児童のみなさんによるしくお伝えしていただき、礼状がまっています。

### 「身障者に暖い手」と 一女性の善意寄附

十一月十六日早朝、役員某職員宅へ、どこか工場にでも勤務していると思われる若い女性が「ごちんさん役場へお勤めしておられるのでしょうか。これを福祉事務に役立てて下さい」といって一通の白封筒を応待に持たれた奥さんに手渡すと氏名も告げずに、自転車ですさっと帰って行かれました。 何としても、今、申し上げたとお急遽にこれを休止するといふわけにはいまい。 現況からできないので、これを埋立させていただきます。 なるべくそうしたいので、おこらぬようにいたしたいと思っております。 対策については苦慮しておりますが、決してその考へ方が最初の考へより、以上に悪かったというようなこともいろいろ考へさせられる点もあるもので、十分注意をしようといつも早く、これが解決するようにいたしたいと、考へております。

### 役場 窓口年末始業務のお知らせ

日本人にとって、この十二月は、一年のしめくくりと、新しい年への準備をふくめて、なんとなく忙しいことでしょうか。 官庁は十二月二十七日で御用納め、お休みになります。 住民と密接の関係ある清掃業務や、印鑑証明、戸籍関係業務、会計業務を次のように行いますのでお知らせいたします。

◎住民課 印鑑証明、戸籍謄本、抄本、住民票、国民年金等の業務も十二月三十日まで平常通り行いますので印鑑、戸籍関係、年金のご用の方はお出下さい。

◎清掃業務(ごみ処理) 清掃業務については年末

既に広報でお知らせしましたが、本年度における住居表示事業は固有鉄道より東側を対象として来年二月一日実施を目標に進められております。 住年の人口の増加、近年の人口の増、交通機関の発達により社会環境も著しく変化しつつあります。 それがため市街化区域の現在、五つの大字亀田、諏訪、袋津、城所甲乙と十七の行政区東船場乙、諏訪甲乙、稲葉乙、入稲葉甲、乙、高山甲、宮前、向、中浦向、岡山、山ノ下、砂岡、池ノ山、所島、城所甲乙と十七の行政区を有する者から意見を拝聴し、その議案を議決することと決定されました。 つきましては左記により公聴会が開催されますので傍聴は自由です。 多数お出下さい。

日時 十二月十三日 午後一時三十分 場所 亀田町公民館



# 保健衛生 だより



月 日	曜 日	内 容	該 当 者	会 場
12月7日	月	インフルエンザ 子防接種	未接種者	公民館
12月8日	火	離乳食講習会	S45年8月生れ	公民館
12月11日	金	9ヶ月検診	S45年3月生れ	公民館
12月14日	月	妊婦検診	11月中旬に届出した 妊婦	公民館
12月16日	水	3才児検診	S42年11月12月生れ	公民館
12月18日	金	3ヶ月児検診	S45年11月生れ	公民館

## 問診表について

各種子防接種を実施する際の事故を防止するため、町と町医師会では、問診表によつて子防接種を受けられる方の身体の状態を予めお聞きするため、これを子防接種通知書に添付し、インフルエンザの子防接種から、実施することとなりましたが、当日体温の測定、及び記載をして来られない方が多く困っています。

子防接種を受けられる方は必ず記載し、当日お忘れなく受付へ出されるよう、御協力をお願い致します。

**亀田町母子保健推進員発足**

町母子保健推進員の第一回会合が公民館で開催され町長より母子保健推進員の依頼書、証票の授与が行なわれ各区分より一名づつ推進員は各区分より一名づつ推進員五十名で発足しました。

この人達は、母子保健事業の充実を図るほか、地域における母子保健組織活動の育成を図り、母子保健の向上に寄与することを目的として、12月より地域に活動していただくことになりました。皆様の家庭に訪問され

妊婦検診、乳児検診、幼児検診のすすめや、母子に関する相談相手として、役場と家庭のパイプの役割として、町母子事業に協力していただくことになりましたから、よろしくお願ひ致しますと共に皆様の協力をお願い申し上げます。

**亀田町母子保健推進員**

世帯主 推進員名 区

満 夫	角 木	照 子	1 区
繁 太郎	熊 倉	ハ ナ	2 区
豊 次	乙 川	ユ リ	3 区
福 二	枝 並	清 江	4 区
新 七郎	五十嵐	昌 子	5 区
春 雄	長谷川	トミ	6 区
清 敏	田 辺	キ ミ	7 区
	佐 藤	恭 子	8 区

秋 潤	孝 隆	昭 男	隆 三	浩 三	清 吉	銚 介	卯 一郎	新 吾	清 一郎	末 二	ミ ヨ	三 郎	信 卓	本 人	吉 計	源 吾	涼 子	さ ゆり	守 雄	恵 子	由 美	高 敏	美 恵子	恵 美子	孝 夫	和 美	一 弥	一 栄	広 美	紀 明	信 也	敏 政	博 美	幸 治	嘉 浩	徳 雄				
片 山	皆 川	熊 池	村 山	長谷川	荒 木	佐 藤	大 倉	野 口	堀 サチ子	片 倉	小 林	石 塚	伊 藤	押 木	佐 藤	川 島	遠 藤	村 木	渡 辺	村 木	野 本	西 山	若 林	土 田	西 山	古 泉	古 泉	押 木	長谷川	小 林	田 村	渡 辺	滝 沢	山 口	小 林	齊 藤	清 野			
エ ミ	イ ツ	元 ノ	ハ ル	俊 文	正 子	英 子	和 子	礼 子	サチ子	ハルイ	サチ子	敏 子	千代子	リイ	芳 子	佳 子	達 夫	義 夫	一 夫	俊 夫	孝 夫	正 義	惇 二	稔 二	邦 夫	勝 男	征 一	新一	政 一	健 次	正 春	敏 彦	敏 夫	進 夫	由 男	実 夫				
28 区	27 区	26 区	25 区	24 区	23 区	22 区	21 区	20 区	19 区	18 区	17 区	16 区	15 区	14 区	13 区	12 区	11 区	10 区	9 区	12 区	14 区	1 区	6 区	47 区	50 区	48 区	29 区	32 区	36 区	36 区	41 区	24 区	21 区	2 区	36 区	30 区	2 区	12 区	22 区	37 区

信 夫	楠 美	仁 海	一 輔	真 春	清 人	本 正	甚 正	八 寿	快 一	浩 二	秀 正	精 一	武 郎	茂 之	正 昭	信 夫	悉 田	渡 辺	本 田	藤 田	藤 田	渡 辺	玉 井	関 次	降 旗	石 本	南 場	田 村	紀 明	健 次	直 美	光 弘	美 佐	純 子	美 和	珠 世	淳 子	洋 子	修 司	博 之	
古 泉	大 倉	岩 城	丸 田	高 橋	堀 本	杉 本	片 山	土 橋	古 泉	吉 田	山 田	村 山	深 田	上 村	中 林	本 田	田 中	幸 松	周 次	周 次	吉 次	益 本	喜 代	泰 三	俊 三	ヨセ	ヨセ	紀 明	健 次	吾 郎	高 橋	宮 島	八 木	塚 本	堀 川	藤 田	伊 藤	若 月	五十嵐		
ト 枝	エ ツ	恵 子	信 子	マ スイ	ユ キイ	ヨリ	シゲ	ミチ	アサ子	和 枝	シズ子	十四子	房 子	直 江	直 江	洋 子	洋 子	一 郎	昭 一	昭 一	良 次	本 人	本 人	本 人	平 三	平 三	泰 三	健 次	吾 郎	正 男	正 男	孝 次	孝 次	一 弘	一 弘	睦 夫	昭 義	輝 義	二 郎		
50 区	48 区	47 区	46 区	45 区	44 区	43 区	42 区	41 区	40 区	39 区	38 区	37 区	36 区	35 区	34 区	33 区	32 区	31 区	30 区	29 区	17 区	33 区	24 区	16 区	47 区	43 区	3 区	12 区	25 区	38 区	2 区	32 区	43 区	41 区	34 区	34 区	26 区	22 区	21 区	20 区	13 区

# 寒波にそなえて

毎年冬になり、寒波のため給排水管の破裂事故が生じます。冬にそなえて充分注意いたしましょう。

◎給水装置はあなたの財産です

寒波のために給水装置が故障したり、管が破裂したりして修理をいたしますと、その修理費も可成りの金額になります。

各家庭内の管理については、細心の注意を払いましょう。

## 給水管の保温装置に万全を

◎凍結予防

①立ち上り管の「裸」は絶対にさげましょう。裸の管には、フェルトかラシャのような厚目の布をまき、その上にビニールテープを巻いて下さい。なおこの保温装置は、水道公認業者にたのんで装置してもらっても結構です。

②メーターボックス(覆)の中に「バルブ」(不凍水抜栓)を取り付けてありますので、夜お休みの前か又は夕食後水を使用しなくなった時に、この「バルブ」をしめまますと、立上り管の水が抜けて凍結いたしません。忘れずに実行して下さい。バルブを取りつけて

③給水装置が破裂したとき

①まずメーターボックスの中にある「バルブ」を閉めて、水のをとめて下さい。水をとめてから町の公認水道工事店か、水道局に連絡して下さい。

②バルブ等のない場合は布きれ、チューブなどをまき針金で固くしぼり応急措置をして下さい。

町で公認している水道工事業者は左記のとおりです。

三丁目、電話03二七二番

一、新設工業所 袋津砂岡 電話04六三三番

一、新和設備工業 新明町三丁目、電話04五〇一六番

一、佐藤工業所 稲葉浦、電話03五〇七番

◎給水装置の修繕工事

①みなさまのご家庭へ水を送るため、道路に布設されている配水管から分けて引き込んだ給水管や、止水せん、給せん(ジャグチ)などを総称して給水装置と呼びます。給水装置はあなたの所有物であると同時にあなたの財産です。従ってこの装置の維持管理についてもあなたの費用でまかなわなければなりません。尚、冬期間、凍結、破裂などによる修繕工事費は各自の負担となります。

◎寒波による凍結、破裂は全町一斉に起る現象ではありません。一晩に大量の破裂件数になりますと、町の四業者、水道局員を総動員しても、修繕工事には相当の時間を要しますので、みなさまのご理解と、ご協力をお願いいたします。

この間、みなさまも大変お困りになることでありますので、前述いたしましたように「給水管の保温装置」又は「不凍水抜栓」の設置などで万全を期していただくと同時に、当水道局といたしましては、

破裂による水道料金については、特殊のケースを除き、原則として「減免」の措置はとらない方針でありますので、念のため申し添えます。

## おたんじょう おめでとう



世帯主

源 吾	川 島	佳 子	9 区
吉 計	佐 藤	芳 子	10 区
信 卓	佐 藤	リイ	11 区
本 人	伊 藤	千代子	12 区
三 郎	加 藤	ミヨシ	13 区
末 二	小 林	みち子	14 区
清 一郎	土 田	ヒサ子	15 区
新 吾	片 倉	ハルイ	16 区
卯 一郎	堀 サチ子		17 区
銚 介	野 口	礼 子	18 区
清 吉	大 倉	和 子	19 区
清 三	佐 藤	英 子	20 区
浩 三	荒 木	正 子	21 区
隆 三	長谷川	俊 文	22 区
昭 男	村 山	信 子	23 区
孝 隆	熊 池	ハ ル	24 区
潤 一	熊 池	元 ノ	25 区
秋 三	皆 川	エ ミ	26 区

おくりやみ (死亡)

博 之	五十嵐	勤 二	13 区
修 司	若 月	輝 義	20 区
洋 子	伊 藤	昭 義	21 区
淳 子	藤 田	睦 夫	22 区
珠 世	堀 川	一 弘	26 区
美 和子	塚 本	正 夫	34 区
純 子	八 木	孝 次	34 区
美 佐子	宮 島	作 恵	41 区
光 弘	高 橋	正 男	43 区
直 美	山 倉	吾 郎	32 区